

東京都立荻窪高等学校 グランドデザイン

— ひとりひとりの個性を伸ばし、なりたい自分を未来へつなげる —

【教育目標】 🌱 立志 🤝 相和 🚀 向上

入学から卒業までの総合的・体系的なキャリアプランに基づいた教育活動により、生徒の人格形成を行う。その際、卒業までに全ての生徒が身に付けるべき資質として規範意識と社会性を育成する。具体的には基本的生活習慣の育成、基礎学力の定着等学校生活に適応させる指導を通し、生徒の社会貢献の意識の育成と希望進路の実現を図る。また、生徒の主体的活動の実践場面として特別活動を充実することで、生徒の帰属意識を高め、学校全体を活性化させる。また、いじめのない、体罰をしない、させない、起こさない学校をつくる。

【生徒の現状と課題】

○基本的生活習慣が確立できていない生徒、自ら卒業後の未来を見据えて入学してきていない生徒、遅刻・早退、長期欠席から転退学となる生徒。
○入学する生徒の多様性が広がり、学力差が大きい。日本語指導を要する生徒。
○継続して取り組む努力が苦手な生徒。また、自己有用感や集団への帰属意識が低く、コミュニケーション力、協働能力に課題がある生徒。

今、この場所で自分を活かす力 を身に付けてほしい・・・。

▶ 今の自分と向き合い ▶ 小さな一歩を積み重ね ▶ 未来につなげる そのための日々の取組。

📖 授業 → 基礎から丁寧に、分かる・できる を目指す 🧑‍🏫 サポート・👤 進路 → 相談体制の充実

🏫 学校生活 → 行事・部活動への参加

🌐 多様な学び → ダイバーシティ推進校として、異文化理解の取組を含め、違いを認め合いながら、社会に適応する

👤 自分と向き合う → 少しずつできることを増やす 🤝 人と関わる → 思いやりと協力

🌐 社会とつながる → 将来を考える 🌟 自分らしく生きる → 個性を大切にする

【学校像/学校経営計画】

全教職員が目指す学校像を共有して協働するとともに、学校に配置される専門職、地域や関係機関との連携により効果的な指導・支援の方法を常に追究する。また、多様な生徒が自らのペースで学習や学校生活の充実を図り、誰もが落ち着いて安心できる環境を創るために、以下の学校を目指す。

○ルールやマナーを尊重する態度、他者を思いやる気持ち、豊かな人間関係を構築する力を培う学校
○入学から卒業までの体系的な進路指導によって、多様な生徒の進路実現と自己実現を図る学校
○基礎・基本の習得と定着から進学希望の実現まで、個に応じて幅広く学力の向上を図る学校
○幅広い体験を通して、自己有用感を高め、自らの力を他者の為に生かそうとする意識を育てる学校
○生徒の心身の健康づくりを進める学校

学習指導要領に照らして本校が目指す資質・能力の達成度評価基準表（ルーブリック）

【9つの力】		レベル1	レベル2	レベル3
知識・技能 ～自分を育てる準備をする力～	①言語力	物事を理解するツールとしての国語力を身に付けようとしている	物事を理解するツールとしての国語力が身に付き適切に使用できる	言葉で考えを組み立て、根拠を示して説明することができる
	②情報収集・活用力	必要とする情報を収集し物事の理解や考察に活かそうとしている	収集した情報を活用し物事の理解や考察を進めることができる	情報を取捨選択して、真偽を見極め、物事を多面的に深く理解、考察することができる
	③論理的思考力	筋道立てて物事を考えようとしている	筋道立てても物事を考えることができる	批判的思考の上に根拠をもって論理的に物事を考えることができる
思考力判断力表現力 ～自分を外側に発信する力～	④自己評価力	自分の判断や行動から自己理解を深めようとしている	他者からの評価も受け止め自己理解を深めることができる	自己のアイデンティティを意識し、その確立を課題とできる
	⑤表現力	他者に向かって表現しようとしている	他者に向かって表現することができる	相手の立場を考えて分かりやすく表現することができる
	⑥対話力	対話によって相互理解を深めようとしている	対話によって相互理解を深めることができる	心理的安全性を確保しながら異なる意見を調整し、合意を導くことができる
学びに向かう力人間性等 ～自分を育て、より良く生きようとする力～	⑦考察力・課題発見力	自らが取り組むべき課題を考え、つかむことができる	周囲の人々と共有する課題を理解することができる	より良い社会を築くための人類共通の課題を理解することができる
	⑧協働能力	他者と協力することの大切さを理解している	課題解決に向けて、常に他者と協力して取り組むことができる	自ら他者との協働関係を築き、合意形成を図りながら取り組める
	⑨行動力・改善力	目標に向かって取り組み、振り返りをしようとしている	目標をあきらめずに、継続して取り組み、振り返ることができる	目標に向けて取組を改善し、次の目標を設定することができる
令和10年度を目標に…		導入をめざす取組		拡充をめざす取組
*探究的・主体的学びにつなげる学習内容・方法の充実：		【他陪履修科目】【荻窪における資格・検定の取得推奨】【Microsoft Teamsを活用した学習】		【特別専門選修科目】【大学受修科目】【校外における学修の単位認定】【夏期集中講座】【他校との併修】
*基礎学力の定着と充実：		【東京ベーシックドリルやスタディサプリを用いたの自主学習習慣の確立】		【少人数授業の実践】
*多様な生徒に多様な支援：		【校内別室推進事業（校内オンラインによる学びの研究）】		【YSW・SCを活用した外部機関連携】【通級による指導】【特別的教育課程における日本語指導】